

【機械・トレース・建築共通】受験上の注意

1. 試験監督官の指示があるまで決して開けないこと。
2. 試験時間は 80 分とし、データの保存時間も試験時間内に含まれる。
筆記問題、実技問題のどちらから始めても構わない。
3. 試験問題の内容および解答に関する質問は受け付けない。
4. 試験問題、フラッシュメモリ、解答用紙、受験票を持ち帰った場合は、結果の如何を問わず「失格」とする。
5. 受験票は机上の試験監督官の見やすい位置に提示しておくこと。
6. 受験者シールに印字されている受験番号、氏名及びTYPE番号を必ず確認し、フラッシュメモリ収納袋に貼る受験者シールのみに使用 CAD ソフト名を記入する。その際にバージョンの記載は不要。
7. 受験者シールは試験問題及び解答用紙の所定欄に貼り付けすること。
(フラッシュメモリ収納袋には所定欄がないので中央部分に貼付すること)
貼付されていない場合は、「採点対象外」とする。
8. 筆記問題の解答用紙はマークシート形式なので、枠からはみ出さないように塗りつぶすこと。
9. 解答は濃い黒の鉛筆 (HB 程度) を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消すこと。
10. その他、試験監督官の指示に従うこと。

【採点対象外となる事項】

- 解答枠の「ファイル名」「氏名」の未記入、誤記入
- 「受験者シール」の貼り忘れ
- 「受験申込分野」「保存形式」「使用解答枠」の間違い
- その他、指示された事項に反している場合

【建築】受験上の注意

1. 図面用紙、尺度は、**配付図面 (A3、1 / 100)** をそのまま使用すること。
2. 単位は全て **mm (ミリメートル)** とする。
3. NAME (受験者名) を正確に記入し、略式記入は行わないこと。「漢字」または「ローマ字」のどちらでも構わない。ただし、**「指定されたレイヤに指定された字高」で記入**すること。
記入されていない場合は、「採点対象外」とする。
4. 解答枠内の基準線、解答枠の位置を移動・削除および尺度を変更しないこと。
※作図上必要な修正は行ってもよい。
5. 以下の属性情報については自由に設定しても構わない。
 - レイヤや図形の色 (使用する色に制限や基準はない)
 - 使用する線の種類は、CAD システムにある設定を使用してもよい。
 - 線種の尺度 (線の要素の長さなどの設定に制限や基準はない)※線の太さを設定する必要はない。ただし、適切なレイヤ (線種ごと) に作図すること。
6. 試験問題は、筆記問題が 5 問、実技問題が 3 問、17 頁～28 頁の計 12 頁である。
7. 試験問題で使われている図は現尺ではない。
8. 実技問題の解答データは、配付されたフラッシュメモリに保存すること。**データ保存時のファイル名は自分の受験番号 (半角英数字) で保存**すること。分野を記入する必要はない。
×××××-×××× (自分の受験番号)
ファイル名の記入例 10001-1001 など ※数字およびハイフンは半角で記入すること。
※**なおファイル名の記入例には、保存時に選択すると自動的に表示される拡張子「.dxf」は記入していない**。指示どおり保存されていない場合は、「採点対象外」とする。
9. ファイルの保存形式は、**DXF 形式で保存**すること。なお、DXF のバージョンは問わない。
10. 仕上がり図形以外の図形要素 (補助線・下書き線等) はすべて削除すること。ただし、作図上自動生成されたレイヤ等、図形を含まないレイヤについては、削除しなくてよい。
11. その他、作図条件に従って作図を行うこと。

《実技問題》

問：配付した資料および CAD データを利用して、以下の問 1 から問 3 の設問に従って作図しなさい。

《共通の作成条件》

- ・図面用紙、尺度は配付図面 (A3、1/100) をそのまま使用すること。
 - ・単位は全て mm (ミリメートル) とする。
 - ・NAME (受験者名) を正確に記入し、略式記入は行わないこと (レイヤは「waku」とし、字高は 1/100 で出力した際に 3.0mm になる大きさとする)。記入は、「漢字」でも「ローマ字」でもどちらでも構わない。
 - ・データ内の基準線、解答枠の位置を移動・削除および尺度を変更しないこと。
 - ・解答枠データ (中間ファイル) を取り込んだ際、レイヤが変更されてしまったものについては、下記名称 (ローマ字表記) を参照し、レイヤ設定を行うこと。レイヤおよび線種は設定 (下記) に従い描くこと。
- | | | |
|----------------|--------|------|
| ・壁断面 | danmen | 実線 |
| ・建具開記号・OPEN 記号 | kigou | 一点鎖線 |
| ・通り芯 | kijun | 一点鎖線 |
| ・文字 | moji | 実線 |
| ・見え掛り線 | siage | 実線 |
| ・設備機器類 | setubi | 実線 |
| ・建具 | tategu | 実線 |
| ・解答枠 | waku | 実線 |

- ・壁厚・柱径・建具等の寸法は、配付図面集より読み取るものとする。
- ・解答枠データ内の供給部品は自由に利用してよい。
- ・断面線と重複する図形要素 (床断面線と建具下端の線・天井断面線と家具上端の線など) は全て削除すること。
- ・仕上げ、寸法 (寸法線・寸法補助線・寸法数値)、室名は記入しないこと。
- ・上記のほか、作図に際しては「作図仕様表」の記載に従うこと。
- ・登録図形・ブロック・グループ等はすべて分解したうえでファイルを作成すること。
- ・提出データは「DXF 形式」とする。

【問 1】

解答枠の「問 1 解答欄」にある基本図形を利用してアトリエ サイドボード (カウンター・収納棚) の姿図および a-a' 断面図・b-b' 断面図を完成しなさい。
断面図の切断線の位置は、アトリエ サイドボード (カウンター・収納棚) 詳細図の記載に従うこと。

《問 1 の作成条件》

- ・基本図形のレイヤは変更しないこと。
- ・床断面線と壁断面線の交点 (作図基点) を移動しないこと。
- ・解答欄内にあるサイドボード以外の図形は変形・削除しないこと。

【問 2】

配付した資料及び CAD データを利用して「アトリエ」の展開図を作成しなさい。
展開図は A・B の 2 面を作成するものとし、解答枠の基準線に従って、左から A 面→B 面の順に作図すること。
展開図の方向および切断位置は、平面図に記載されている展開方向、位置とする。
切断線は屈曲している場合があるので、切断位置に注意すること。
(詳細は作図仕様表の記載に従うこと)

《問 2 の作成条件》

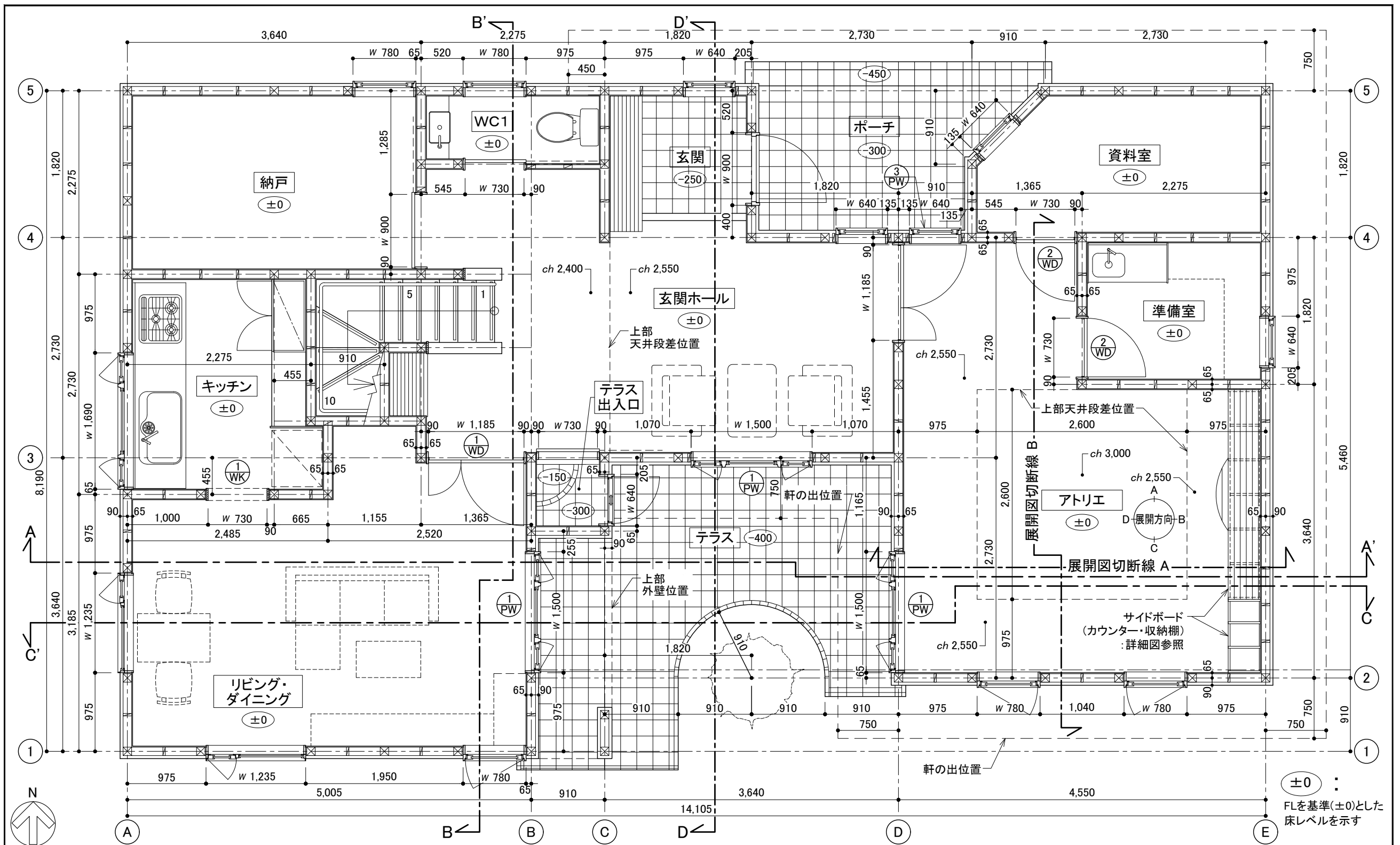
- ・外壁及び隣接室の断面線 (壁・床・天井) は省略すること。ただし、切断位置が開口部に該当する隣接室および外壁の断面線は、作図仕様表の記載に従って作図すること。

【問 3】

配付した資料および CAD データを利用して「A-A' 断面図」を作成しなさい。
断面図の切断位置は平面図に記載されている位置とし、見え掛りとなる壁面の展開図・立面図も作図するものとする。
切断線は屈曲している場合があるので、切断位置に注意すること。
(詳細は作図仕様表の記載に従うこと)

《問 3 の作成条件》

- ・解答枠の▽ GL 記号および基準線を利用して各階の基準高さ (▽各階 FL・▽軒の高さ 1・▽軒の高さ 2・▽最高の高さ) を作図仕様表の記載に従って記入すること。
- ・解答枠の通り芯記号および基準線を利用して通り芯 (A～E) を全て記入すること。

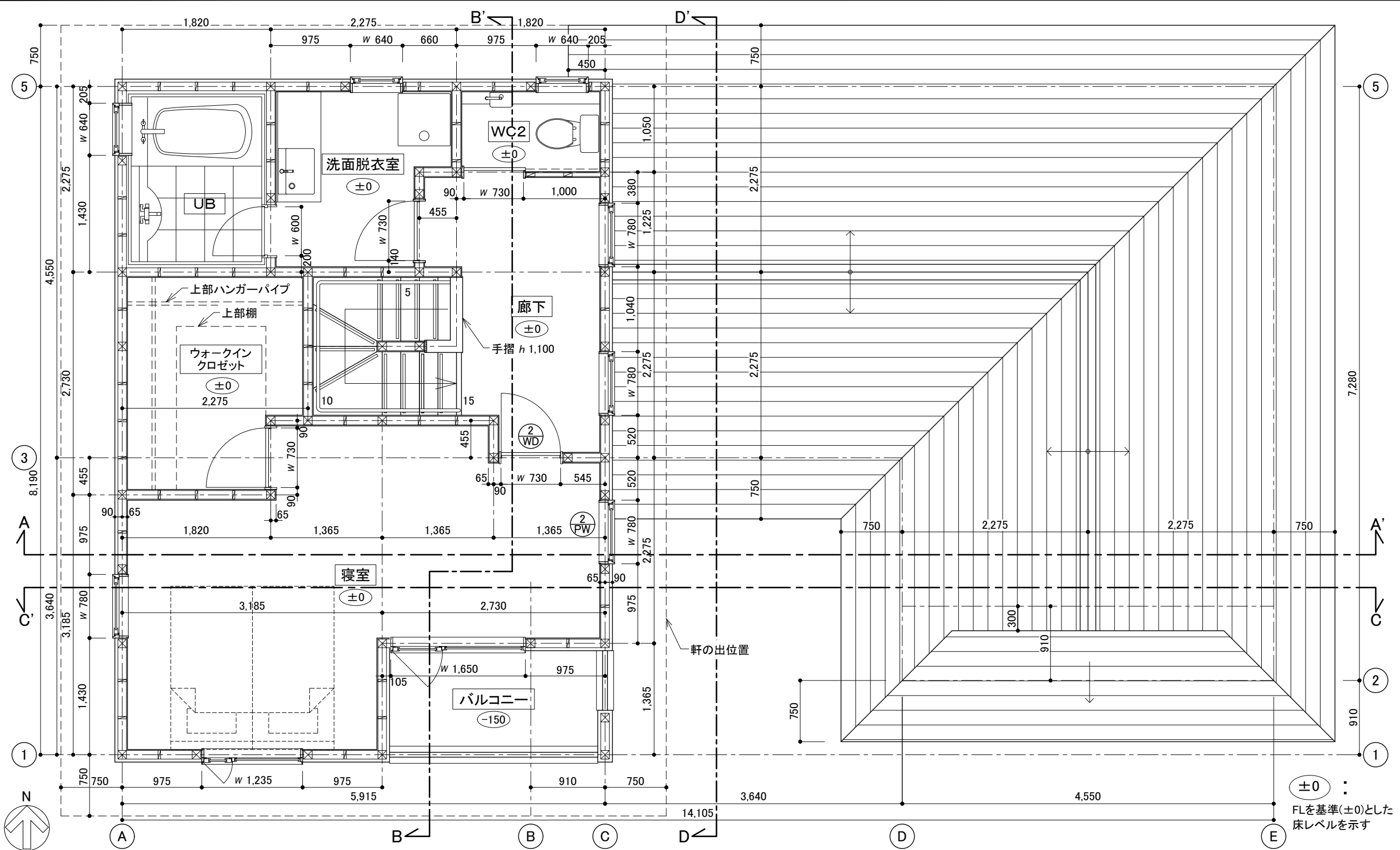


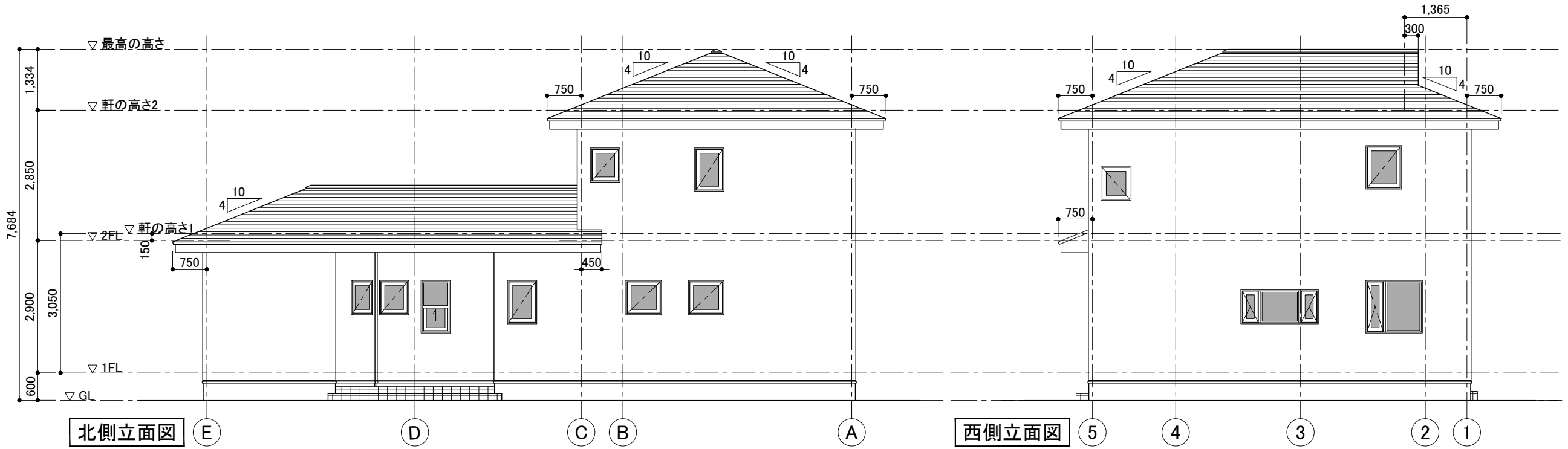
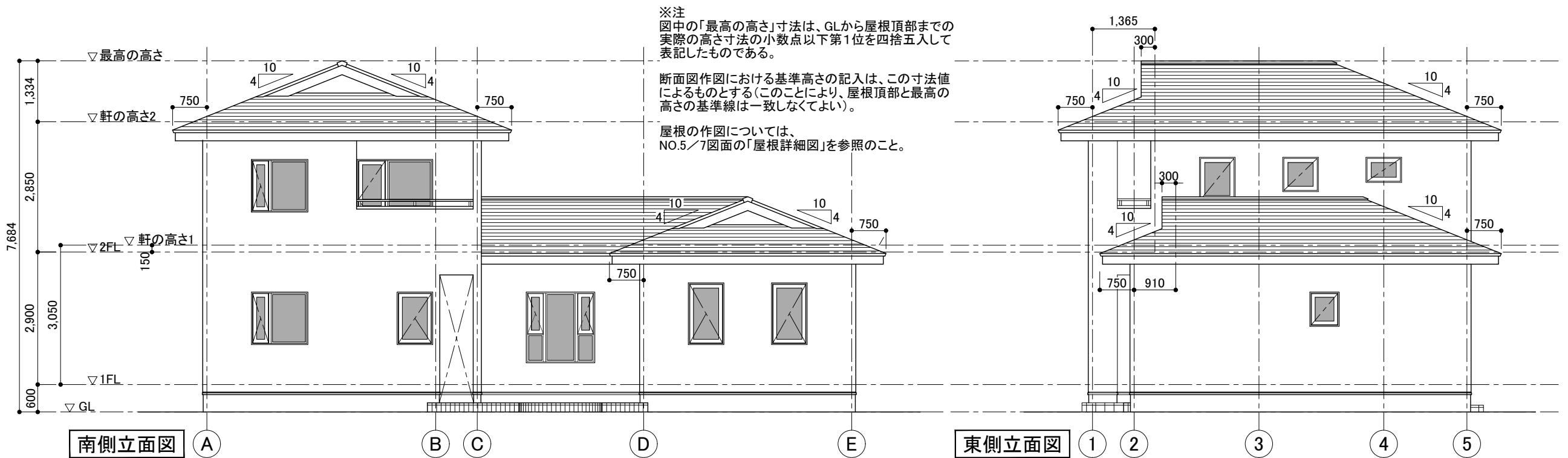
2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

図面名 1階 平面詳細図 建具案内図

縮尺 1/50

NO. 2 / 7





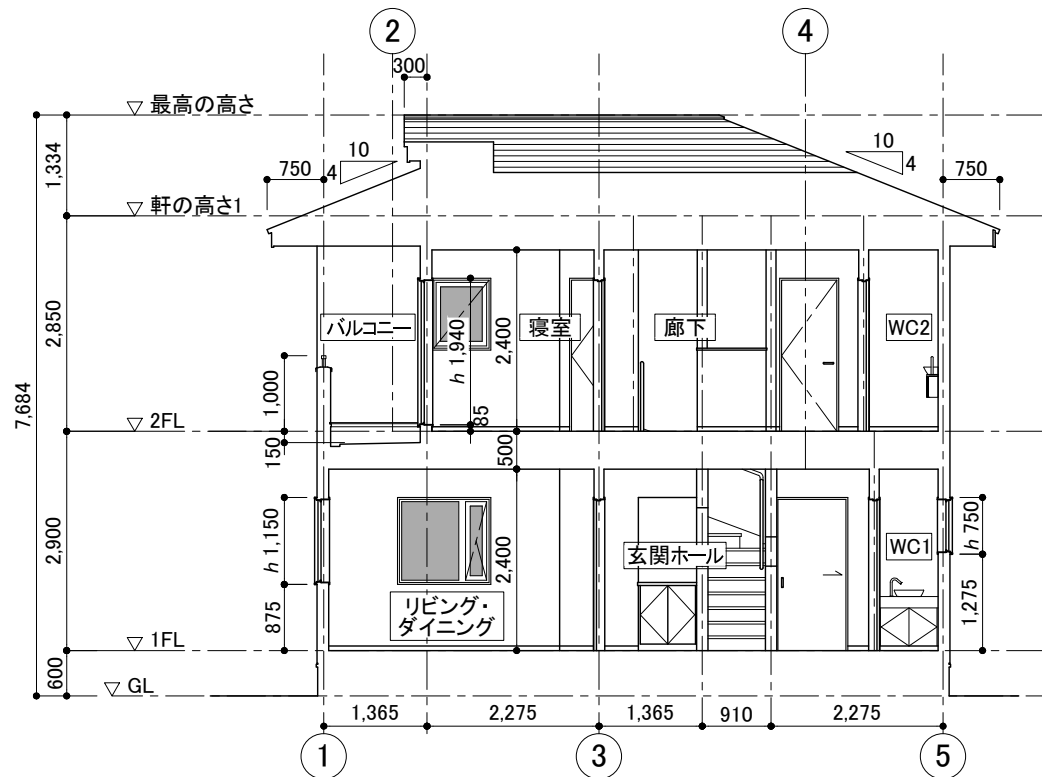
2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験	図面名 立面図	縮尺 1/100	NO. 4 / 7
-------------------------	------------	-------------	--------------

1/100

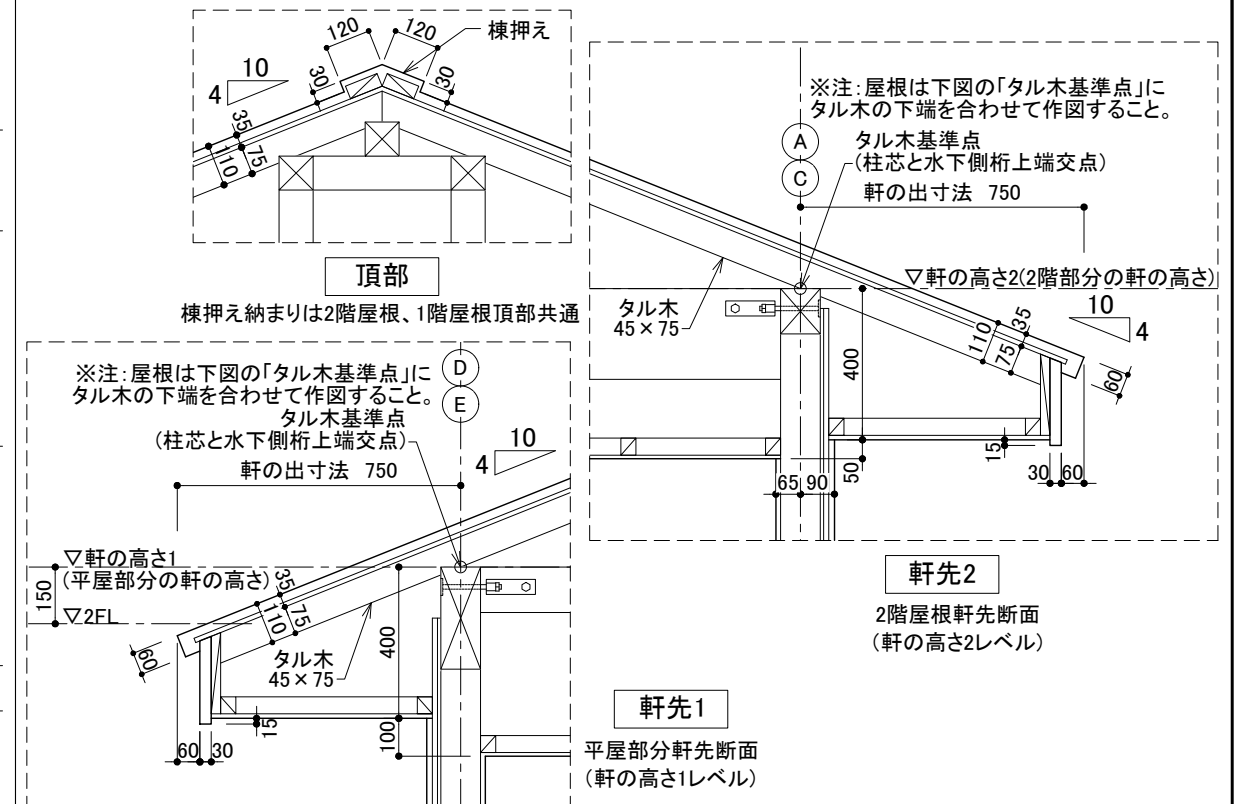
※注
図中の「最高の高さ」寸法は、
GLから屋根頂部までの実際の
高さ寸法の小数点以下
第1位を四捨五入して表記し
たものである。

断面図作図における基準高さの記入は、この寸法値によるものとする(このことにより、屋根頂部と最高の高さの基準線は一致しなくてよい)。

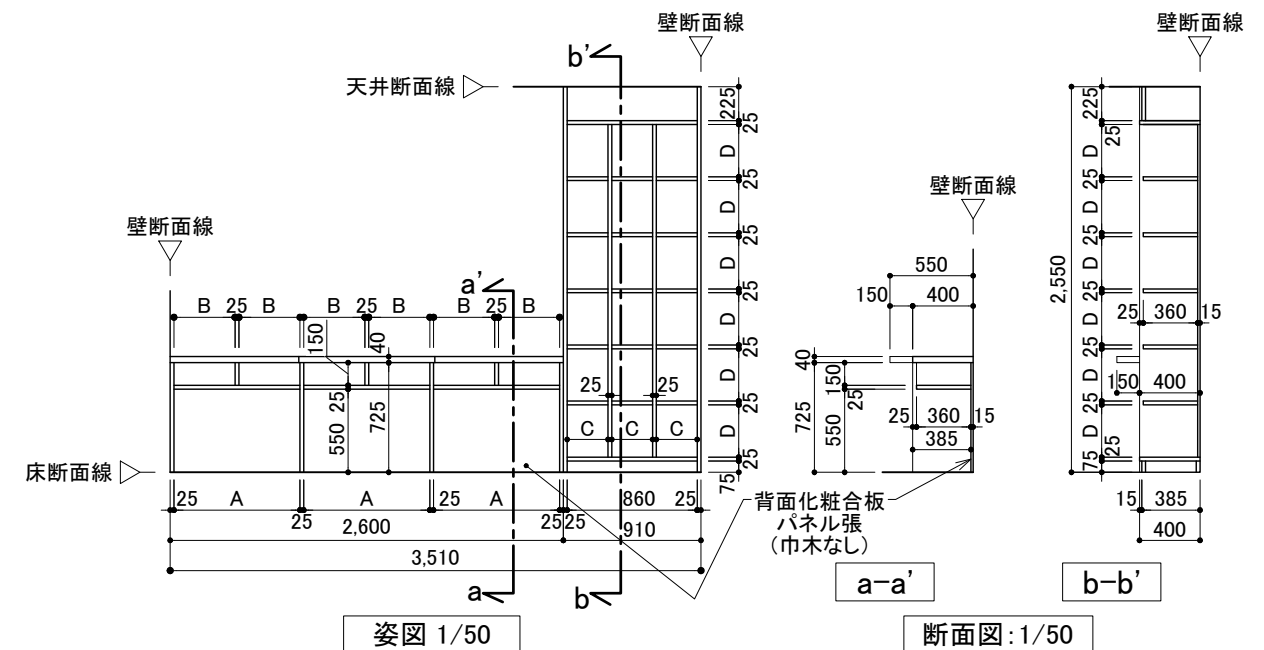
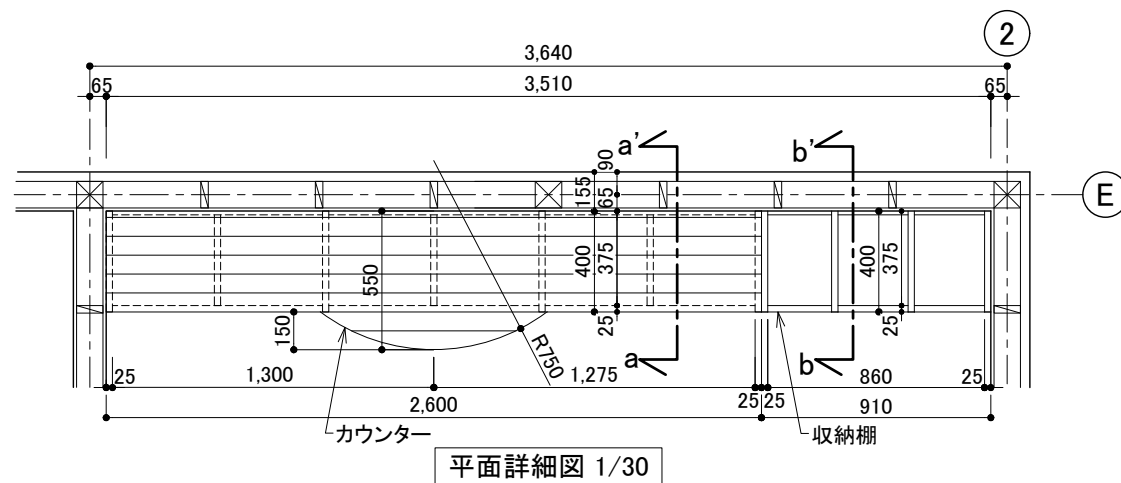
屋根の作図については、
NO.5/7図面の「屋根詳細図」
を参照のこと。



1/20



1/30、1/50

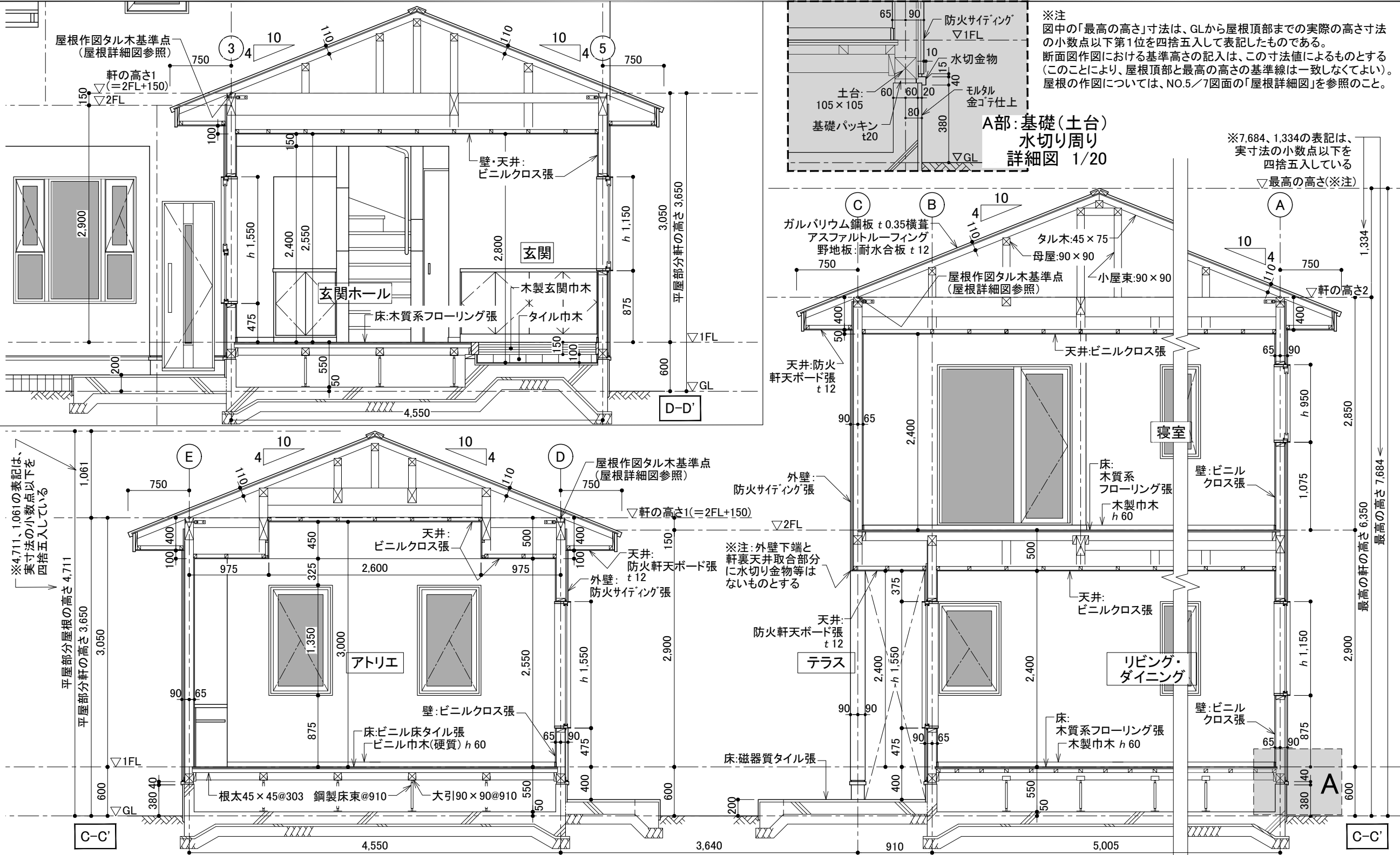


2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

図面名 断面図・詳細図

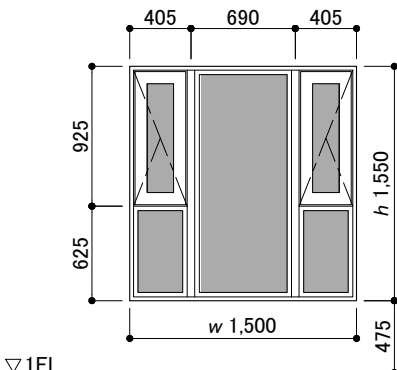
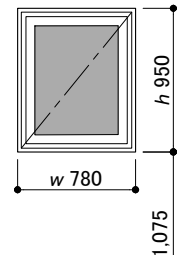
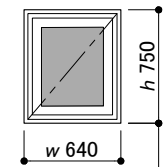
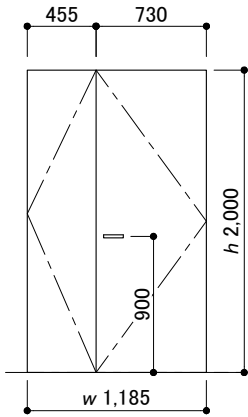
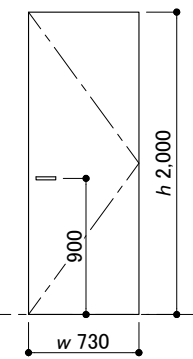
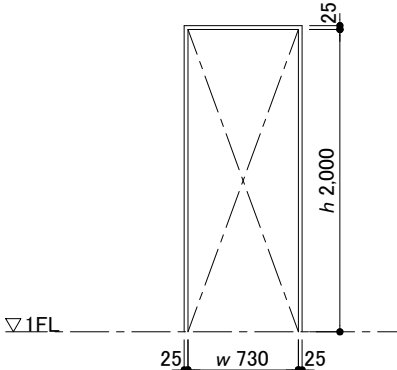
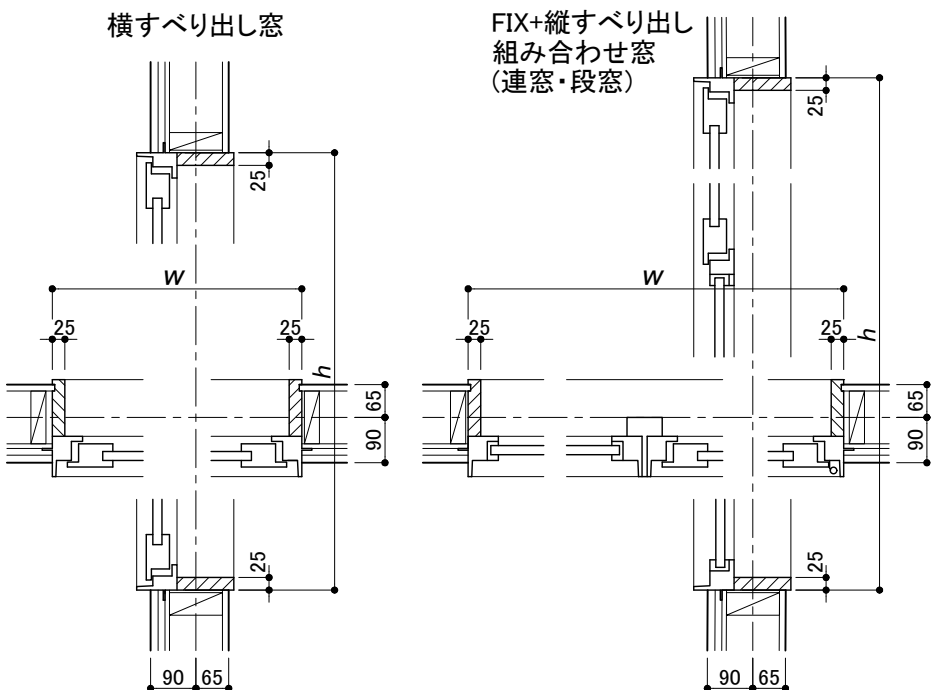
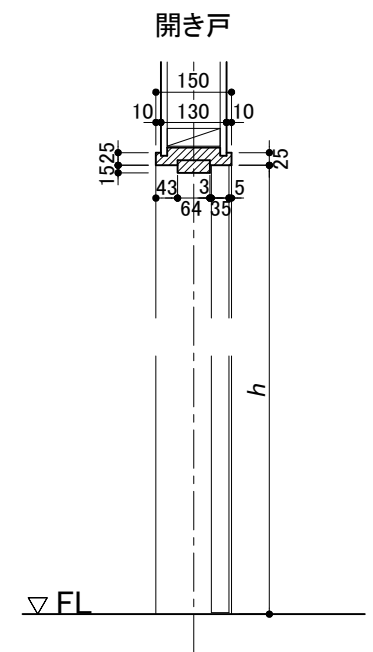
縮尺
各図表示による

NO. 5 / 7



2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

図面名	矩計図(C-C'、D-D')	縮尺	1/50	NO.	6 / 7
-----	----------------	----	------	-----	-------

記 号	<div>①PW</div> リビング・ダイニング、アトリエ、玄関ホール	<div>②PW</div> 寝室	<div>③PW</div> アトリエ	<div>①WD</div> リビング・ダイニング	<div>②WD</div> アトリエ、寝室	
形 状	<div>外観図</div>  <div>▽1FL</div> <div>見込85</div>	<div>内観図</div>  <div>▽2FL</div> <div>見込85</div>	<div>内観図</div>  <div>▽1FL</div> <div>見込85</div>	<div>内観図</div>  <div>▽1FL</div> <div>扉厚30</div>	<div>内観図</div>  <div>▽1FL、2FL</div> <div>扉厚30</div>	
	種 別	FIX+縦すべり出し組み合わせ窓(連窓・段窓)		横すべり出し窓		親子開き戸
	仕 上	樹脂サッシ		樹脂サッシ		ナラ練付合板フラッシュOSCL
	硝 子	複層ガラス		複層ガラス		—
	金 物	開閉用オペレーターハンドル、アングルピース		カムラッチハンドル、アングルピース		ステンレス丁番、レバーハンドル、空錠 ドアチェック、フランス落し、戸当り
	備 考	付属金物一式		付属金物一式		扉枠:3方枠(見付25mm、沓ズリなし)
記 号	<div>①WK</div> リビング・ダイニング	外部建具標準詳細図 1/15			内部建具標準詳細図 1/15	
形 状	<div>3方枠 見付 25、見込 150</div>  <div>▽1FL</div>				<div>開き戸</div>  <div>▽FL</div>	
	種 別				開口枠	
	仕 上				集成材 UC	
	硝 子					
	金 物					
	備 考					
2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験				図面名 建具表・標準詳細図	縮尺 1/50・1/15 NO. 7 / 7	